

2021年度 先進的取り組みへの支援

「ハイブリッド研究会向けリアル会場の
音響環境の構築」 ヤマハYVC-1000の導入

SeMI研専幹事補佐 中山悠

SeMITC研究会について

▶ センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会

- ▶ 2019年4月設立 ASN研専とMoNA研専を統合

▶ 主要な研究分野

- ▶ センシング
- ▶ モビリティ
- ▶ モバイル・ユビキタスコンピューティング
- ▶ センサ・アドホック・モバイルネットワーク
- ▶ アプリケーション

▶ 年間活動（2021年度）

- ▶ 5月、6月、7月、11月、1月、3月に研究会、また大会企画等を開催



<https://www.ieice.org/~semi/>

課題

- ▶ 2020～2021年度にかけて、本研究会では講演や研究会をオンラインで開催
- ▶ 今後、社会活動が活発になっていく際には、ハイブリッド開催が標準になるはず
- ▶ ハイブリッド型の会議で円滑・活発に議論を進める取り組みが重要

取り組みの目的

- ▶ 円滑・活発な議論を行うため、リアル／オンラインの参加者双方に明瞭な音声が届ける
- ▶ リアル会場の設備になるべく左右されずに、高品質な音響環境の構築をする
- ▶ 高性能かつ汎用性の高い機器を選定し、安全かつ簡易に運用可能とする

購入機器

- ▶ ヤマハ YVC-1000 (98,010円)
- ▶ 高い**音声品質**、優れた**拡張性**
- ▶ 40人規模の会議にも対応可能
- ▶ 使い方が簡単のため、担当者によらず設営がしやすい



© Yamaha Corporation.

参照 <https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-1000/index>

実施概要

▶ SeMI 研究会 専門委員会 (2022年1月12 日 11:00-12:00)

* 社会情勢の影響で研究会をハイブリッド開催できなかったため

▶ 東京農工大学 + オンラインのハイブリッド

▶ 参加者（現地）中山悠

▶ 参加者（オンライン）19名

山本 高至, 門田 和也, 大和田泰伯, 橋本 匡史, 金井 謙治, 内山 彰, 勝間田 優樹, 田谷 昭仁, 五十嵐 悠一, 宇都宮栄二, 小川将克, 河東 晴子, 猿渡 俊介, 関屋 大雄, 湯 素華, 内藤 克浩, 西尾 理志, 森 慎太郎, 石原 進

実施報告 | 結果

- ▶ マイクスピーカーシステムによりリアル会場の音響環境を**安定的**、**高品質**に構築
- ▶ マイクを意識せず**対面のコミュニケーション**に近い感覚で議論が可能
- ▶ マイクの増設により、広い会場にも容易に対応可能なことを確認

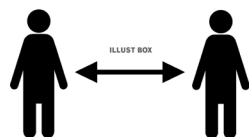
実施報告 | 設営面

- ▶ 可搬性の高いコンパクトな機器の持ち込みにより、会場設備に影響されず音響環境を構築
- ▶ マイクの数や使用方法の確認などといった、会場選びにかかる時間や労力を削減
- ▶ 設置や撤収の手間が少なく、担当者の稼働も少なくて済む

実施報告 | 感染対策面

- ▶ 人体との接触の多いハンドマイクが不要なため時間、労力をかけずに感染対策が可能
- ▶ ソーシャルディスタンスを考慮した疎な会場設定にも対応
- ▶ ハンドマイクの持ち運びの手間がないため、広い会場でも対応しやすい

SOCIAL DISTANCE



今後の展望

- ▶ 蓄積したハイブリッド開催のノウハウを来年度以降の本格使用に向けて活かしていく
- ▶ オンラインのメリットを生かしつつ、対面に近い円滑なコミュニケーションを行う
- ▶ マイクを増設することで、今後現地での参加人数が増えた場合にも対応可能